



芸術の花 咲き乱れる 第47回南関町文化祭

第47回南関町文化祭(南関町文化協会・南関町文化祭実行委員会主催・松本隆明会長)が11月3日～5日に南の関うから館で開催され、同協会会員の力作がずらりと展示されたほか、多彩なステージ発表なども行われ、多くの来場者でにぎわいました。

1日目のステージ発表には、文化協会加盟の22団体が出演し、日舞やダンス、謡曲などさまざまなプログラムを披露。他にも、ピアノや大正琴、南関中学校吹奏楽部の演奏もあり、会場から大きな拍手が送られました。

3日目のカラオケ発表会には町内のカラオケ愛好者が集まり、自慢の歌声を響かせ、ステージを盛り上げました。

3日間にわたり同館ロビーでは、書道や短歌、絵画、陶芸、手芸など多くの作品が展示され、来場者は秋の一日を楽しみました。

収穫の喜びを実感

まるごと田舎体験

10月22日、まるごと田舎体験事業推進協議会(阪井義則会長)はふるさとセンター近くの水田と畑で「まるごと田舎体験事業」を開催しました。田植えから収穫までを体験することで、農業の楽しさや大変さ、食の大切さを感じてもらうことが目的。今回は町外から集まった3組11人が稲刈りと芋ほりに挑戦しました。参加者が6月に田植えを行い、こがね色に成長した稲を、カマを使いながらひとつかみずつ刈り取り、わらで束ねて天日干しまで体験。畑では芋ほりに挑戦し、手で土を掘り起こし、ツルに連なる芋をみつけると「大きい」「やったー」と声をあげながら、収穫を楽しみました。当日は、なんかんトッパ丸も応援に駆け付けたほか、南関町生活研究グループ連絡協議会から町の特産物をふだんに使用した弁当もふるまわれ、参加者は南関町の魅力を存分に堪能しました。



▲たくさん収穫し満足した表情をみせる参加者▶



園児が稲刈りと芋ほりに挑戦

がまだす隊 × 南関こどもの丘保育園

11月2日、南関こどもの丘保育園(菅原裕園長)の年長児が肥猪の水田で稲刈りを体験しました。同園では毎年、若手農業者グループ「がまだす隊」(森寿隊長)の指導を受けて田植えや稲刈りを体験。園児は説明を聞いた後、稲刈りに挑戦すると、あっという間にコツをつかみ、たわわに実った稲を上手に刈り取りました。収穫したもち米は、12月ごろに同園でもちつきやお誕生日会などで食べられます。

11月8日には、年中・年少児が同園の畑で芋ほりを体験しました。園児が6月に植えた苗が大きく育ち、自分の顔ほどもある大きなイモを一生懸命に掘り出しました。収穫したイモは、給食やおやつ時間に焼き芋などとして食べられます。



▲収穫した稲と芋を手に見せる園児



親子でとことん遊ぶ、秋まつり

文化幼稚園 秋まつり

11月2日、文化幼稚園(久保田美智子園長)で秋まつりが開催され、園職員や保護者がゲームや飲食のブースを構え、園児や家族を楽しませました。親子で一緒に楽しい時間を過ごしてもらえたらと、昨年からの企画し実施。くじ引きやヨーヨー釣り、ボウリングなどの催しや、保護者会によるパザーやフルーツサンドのお店が園庭に広がり、来園した人はそれぞれのブースで買い物をしたりゲームを遊んだりしてまつりを満喫しました。園児によるダンス発表もまつりに彩りを添え、秋のひと時を家族で楽しみました。



▲たくさんの人でにぎわう秋まつり



▲金魚すくいや輪投げを楽しむ児童

友達と笑顔いっぱい秋祭り

二小 秋祭り

10月18日、南関第二小学校(古川浩美校長)でPTA秋祭りが開催され、祭りを楽しむ児童のにぎやかな声が校舎に響きました。児童が秋を感じながら班で協力し、みんなで楽しく交流してもらえたらとPTAひまわり部、放課後子ども教室のスタッフと企画や準備を進め、地域学校協働活動として実施。1年生から6年生が7つの縦割り班に分かれ、射的や金魚すくい、輪投げやお菓子釣り、スライムづくりを楽しみました。射的では(株)ヤマチクと連携し廃材を利用した竹でつぼうを使用しました。代表でお礼を述べた6年生の田中翔太さんは「6年生最後のいい思い出になりました。お菓子釣りでは友達と競って遊んで楽しかったです」と話しました。



▲交流を楽しむ参加者

PTAで親睦 ペタンクに挑戦

PTAペタンク大会

11月4日、南関町PTA連絡協議会(西田恵介会長)はPTA会員によるペタンク大会を南関中学校体育館で開催しました。ペタンクとは、目標球(ビュット)にボールを投げ合い、相手より目標物に近づけることで得点を競うスポーツで、町内PTA会員の親睦を深めることを目的に実施しています。当日は、45人が参加し、闘魂込めた一人一人の投球に、会場は大いに盛り上がりました。会長の西田さんは「久々に親睦会まで開催することができました。皆さんが楽しく競技して良い交流の場になったと思います」と話しました。